

2023（令和5）年度 東京大学 入試問題 第1問 解答例

- 一 世界の仮面の文化の慣習や信念が随所で酷似する点で、仮面研究は、人類一般の思考や行動の本質研究に通じうること。
- 二 仮面は、異界の力を可視化しコントロールする意義の喪失後も、顔を他の顔で覆う仮面固有の存立意義を保ちうるということ。
- 三 仮面は、自身には絶対不可視である自己の顔を隠し、変える点で変身の核心であり、他者による自己認知をも変えるということ。
- 四 人類に普遍的な仮面の特性は、仮面のかぶり手を異界の存在として積極的に働きかけることと、常に動揺するかぶり手自身の顔を変えて固定し、世界との関係を固定することとにある。いずれも、一時的に不可視なものを目に見える対象とする機能であるということ。（一二〇字）

五（各2点）

- a 狩猟 b 遂 c 衝